

本はぼうけん

一宮南部小・6 中村 結菜

私はぼうけんをしている  
本を開いたしゅん間に  
未来へ過去へ  
どこへでも行ける

私はぼうけんしている  
いつしゅんで外国でも異世界でも行ける  
きつと本の中でなら  
空も飛べるはず

私はぼうけんしている  
ぺらぺらめくれば心がおどる  
本が終わってしまうのは  
少しさみしい

私はぼうけんしている  
これは私だけの世界  
私の想像とあなたの想像はちがう  
だから私とあなたの世界はちがう  
いつしよの人はいない

私はぼうけんしている

本の中のぼうけんは  
現実とはちがう  
私はどちらも好きだ

私はこれからも  
もつともつとぼうけんしたい